

# タイピックだより

10月号

2015.9.20 発行

Vol.34



秋も半ば、朝晩も涼しく過ごせるようになってきました。これからは過ごしやすい時季になると思っていたところに、9月の豪雨により関東・東北では多くの方々が被災されました。自然の恐ろしさを感じ、被害に遭われた方々の無事を願いながら、ニュースを見ておりますが、日本は自然災害の多い国です。今、画面越しで見ている災害は他人事ではなく、いつ私たちに振りかかるかも知れないと、改めて防災について考えさせられました。



昭和39年(1964年)10月10日は、国立競技場にて東京オリンピックの開会式が開催された日です。日本の戦後復興を諸国へとアピールする国を挙げてのイベントであり、国民皆が待ち望んだ大会でした。

今、2020年のオリンピックへ向けての準備が進められています。2020年までがどのような年になるかは分かりませんが、かつて焼け野原からオリンピックを開催した先人の方々のように、被災地の方々にも一日でも早く、平穏な日々が訪れますことを心よりお祈りいたしますとともに、遠く島根県からでも出来る支援と協力の輪を広げていけたらと思います。



## 私たちは環境に配慮した取り組みをしています

弊社では2003年にISO14001の認証を取得し、それ以来社内外にわたって環境に配慮した取り組みを行なっております。

ISOというのは、物や活動などの国際規格で、カメラのISO感度や輸送用コンテナのサイズなど、あらゆるものがISOの規格として定められています。その中で環境活動を行う際の規格がISO14001です。

環境方針として掲げていることは、①環境配慮型商品の普及、②廃棄物の削減及びリサイクル、③省エネ・省資源の推進の3つです。これまでに取り組んだことは、全社の照明をLEDに交換し、エアコンの取り換えにより電気使用量を大幅に削減しました。また、日常的な活動としては、産業廃棄物・一般廃棄物ともにごみの分別の徹底、昼休みなど不用時の照明の消灯、エアコンの設定温度の適正などに取り組んでいます。これからもよりよい生活と地球環境維持のために工夫を凝らした活動をしていきたいと思っております。



必要とされる人へ、必要とされる会社へ

**Typic 株式会社 タイピック**



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号  
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番  
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

## 今月の社長のつぶやき

島根県倫理法人会が主催する『第7回100日実践トライアル』(6月1日~9月8日)に『1時間以上良い本を読む』でチャレンジし100%達成をいたしました。

しかしながら第4回においては『1日2時間以上学をなす』(読書・CD・講演)で目標達成しており、物足らなさを感じています。現在時刻、9月13日(日)午前1時52分ですが、倫理では『朝起き』を実践しなさいと教えられており起きました。平素起きる時間は4時を目指していますが、目が覚めたらすぐ起きて「歎異抄」で字の練習、「安岡正篤先生の一日一言」をはがきに書き写した後に本を読むようにしています。

私が実践しているのは『朝起き』で『早起き』とは違います。『早起き』は朝早い時間に起きることで、『朝起き』は目が覚めたらすぐに布団からでることを言うのです。

『朝起き』の効用として、明朗に甦る、我が儘を駆逐する、直観能力の向上、熟睡能力の向上、貫徹能力の向上があると教えられており、朝勉強すれば色々な気づきを得られますし、特に3時30分から6時くらいの間は潜在意識と顕在意識が交差する時間で、この時間帯に勉強すれば潜在意識につながりやすく、チャンスをつかむ体質づくりになるといわれています。

100日実践や一日一食など最近していることは修行僧とおなじだなと(髪も薄い)つくづく思っていますが、続けることで習慣となり、身についていく「体が覚えてしまう」のです。自分でできる努力を重ね習慣化する。それによって才能を超えることができると思っています。

トライアルが終了しても1時間の読書は継続し、「吉田松陰に学ぶ男の磨き方」「男の風格をつくる論語」「己を修め徳望を磨く小学を読む」(いずれも致知出版社)などを読んでいます。

次回の第8回100日実践トライアル(10月1日~1月8日)では「1日1.5時間以上学をなす」にトライしてみようと思っています。

現在実践中のもの『安岡正篤の一日一言を1,095日葉書に書き写す(290日継続中)』、『一日一時間以上の読書』、『一日一食』、『稲盛和夫 心を高める、経営を伸ばすの書き写し』

代表取締役社長 岡崎純二

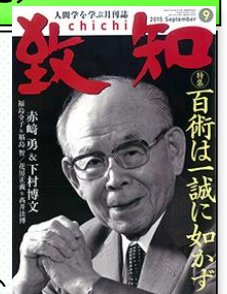


## タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んでの感想)

特集 百術は一誠に如かず N・M

特集記事を読んで、桜町の復興の為、桜町に住む人々の為に全身全霊をかけることができた二宮尊徳は本当にすごい人だと思いました。まさに利他の心だと思います。尊徳のしてきたことを見ると、人にこうしろ、ああしろと言っているわけではなく、荒れた神社仏寺の修復だったり、屋根や便所などが壊れた家を直したり、善行者・篤行者の表彰だったり強制的に人にやらせようというのではなく、人が自分から変わっていけるように、やる気をおこさせるような取り組みをしているのが印象的でした。

また、「百術は一誠に如かず」どんなに巧みに人をあざむく策略に長けていても一つの誠意を貫くことにはかなうものはないのだという言葉と、「打つ心あれば打たる世の中よ 打たぬ心の打たるはなし」の言葉を人と接する時、常に心に留めて、どんな人ともども誠実に謙虚に向き合っていけるよう努力しようと思いました。





# 兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『商品力＝価値／価格』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。  
今回で15回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。



船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。

今回は、「褒める文化」についてお伝えしました。人は誰でも、ギスギスした雰囲気より、良い雰囲気です仕事をしたいです。相手に褒めてもらうのを待つのではなく、自ら相手の良いところに向けて声に出して褒めてみる。照れくささを乗り越えて、それを積み重ねることで、相互に褒め合い、認め合うすばらしい雰囲気を生み出すということをお伝えしました。

さて今回は、「商品力＝価値／価格」についてお伝えしたいと思います。

お客様を惹きつけるために最も大切なのは、商品力です。つまり、どれだけその商品がお客様にとって魅力的なのかということです。そして、商品力というのは、「価値／価格（カクブンノカチと読みます）」として捉えると、商品を魅力的にする方向性が整理しやすくなります。つまり、お客様は、「商品の価値が高いと認識して、且つ、自分が思っていたより価格が安いと感じたとき」にその商品を購入するのです。たとえば、飲食店でも、必ずしもハイグレードなレストランが良いレストランであるとは限りません。逆に、低価格なレストランがダメなレストランというわけでもありません。お客様は、「これだけ美味しく、食材にもこだわっていて、お店もきれいでおしゃれで、窓から見える景色も良くて、店員さんのサービスもすばらしくて……。でも、この値段は安い！」と、感じた価値に対して価格のギャップが生まれたときに、満足するのです。他にも、Googleの検索サービスは、あれだけ便利にも関わらず、無料です。「価値／価格」が極めて高いから人が集まるのです。ポイントは、お客様に絶対に損をさせないことと、買わない理由がなくなるまで「価値／価格」を圧倒的に高めることです。みなさんも、「価値」と「価格」のギャップをいかに大きくできるか、その視点で商品を磨いてみてはいかがでしょうか。

## SAからのお勧め情報



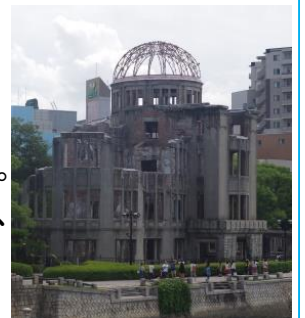
タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。  
今月は、OA事業部営業の大谷がお届けします。

夏の暑さも和らぎ朝晩はだんだん秋らしくなってきました。今年の夏の家族との出来事をお知らせ致します。

私は子ども達に何か良い経験をさせたいと思い、戦後70年の節目の年でもある今年はお盆休みを利用して、広島平和記念資料館に行って参りました。私が小学生時代には、必ずといっていいほど遠足で訪れた場所です。

子どもの頃の私には、とても怖い場所という印象しかありませんでしたが、戦争の悲惨さや原子力爆弾の恐ろしさを少しでも分かってもらえばいいかなとの思いがあったからです。実は私がこの資料館に訪問したのは中学生以来なので、かれこれ25年ぶりになります。館内は多数のお客さんで満員状態でしたが、妻と長男(10歳)は熱心に見入っていました。

その後は約3時間を広島平和記念公園周辺で過ごしました。子ども達にとって何かひとつでも思い出になればいいなと感じた小旅行でした。



# ゆっくりやさしいパソコン教室 生徒さんの声

益田教室 清水千恵子さん 72歳

教室に入って早2年が来ようとしています。高齢になり、体力的にも戸外の事がおっくうになろうとしている時、ふとタイピックの広告が目にとまり、入校してみようという思いが毎日膨らむ…が、何度も何度も広告を見送る日々でした。

友人からの誘いもあり、思い切って入校してみると、アルファベットも思うように打てず物覚えの悪い私に心優しく日々ご指導して下さいる先生方との出会いや、文化祭・バーベキュー・小旅行と数々の行事を介しながらできた友達のおかげで、新しい世界が舞い降りてきたようでした。



浜田教室 Kさん 60歳代

「パソコンは必要ない」と思っていたのですが写真の整理をしたいと思いパソコンを始めました。

ワード・エクセルなど色々な分野を基礎から教えていただき、色々なことが少しではありますが、操作できるようになり、気が付けば3年が過ぎています。

人との出逢いがあり、楽しい毎日です。パソコンを習いたいと思っている方は、すぐ始めましょう。

わかるまで丁寧に何度も教えていただきありがとうございます。



萩教室 大田勸さん 78歳

我が人生の転機に喜寿を迎えた時に、何か記念になる事したらと思いました。

丁度、老人クラブの役員をしていましたが、お知らせ等の書類を全部ペンで

書いており大変でした。同級会でその様な話をしたら、同級生の1人がパソコンを

習っていると聞き、彼がやるなら私にも出来るのではと入会しました。最初はなかなか難しく思

いしましたが、年齢に関係なく機械を自分の思うように使うことに快感を感じました。

友達も出来て未永く続けたいと思います。



廿日市教室 武岡誠子さん 66歳

「ゆっくりやさしいパソコン教室」この言葉が入ったチラシを目にしたのは4~5年も前のこと  
でしょうか？頭の片隅にいつも引っかかっていた。退職して、ようやく自分の  
時間が持てるようになり“よし、今だ”と思い、教室に通うようになりました。

電源の入れ方から教わり1年と7ヵ月。国勢調査の入力もなんとか出来て少し自  
信もつきました。休憩時間の皆さんとのおしゃべりも楽しくて！これから先もゆっ  
くり学んでいきます。



宇治教室 近藤計正さん 75歳

習いに来た始めの頃は、ひらがなを入力することですら苦勞をし、これは途中  
で断念するのではと思っていましたが、教室の練習問題はうまいことでできていて、

忘れたところに前に習った内容がまた出てきて、どうだったろうと思い出しながら  
練習を続けているうちに、ある程度は出来るようになってきました。通い始めて

もうすぐ2年。最近では先生に聞く前に、自分で考えていろいろ試行錯誤できるようになってきた  
のがうれしく、さらにおもしろくなってきました。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします